

胃瘻をつくれなと言われて
困っている患者さんは
いらっしゃいませんか？

胃瘻造設ができない
ために鼻からの
栄養チューブ(経鼻
胃管)を長期間(4
週間以上)入れ続け
ている患者さん

他の栄養投与の
方法がないかと
お困りの方

腹膜播種、消化管腫
瘍、消化管狭窄により
嘔吐を繰り返している
方で胃腸の減圧目的
の胃瘻造設が困難と
判断された方

このような患者さんがいらっしゃいましたら、
ぜひPTEG造設を一度ご検討ください。

経鼻胃管やイレウス管を長期間留置されていてPTEG造設により
苦痛を緩和できる可能性のある患者さん、胃瘻造設を諦めていた
患者さんがいらっしゃいましたら是非相談にお越しください。
十分に適応を見極めつつ、積極的にPTEG造設を行っていきたく
と考えています。

PTEGについて詳しい話を聞いてみたいと思われる患者さんやご
家族の方は次のページの予約連絡先に連絡ください。病院の先生
からのご紹介も同様に電話予約でお願いいたします。

消化器内科外来 島本和巳/月曜日/水曜日 11:30~12:30に
予約をしていただきます。



消化器内科医師/

島本和巳、森直子、杉谷義彦、小林遊、伴宏充、中村文泰
非常勤医師/西山順博

PTEG相談外来

消化器内科/島本和巳

月曜日/水曜日 11:30~12:30
(お気軽にご相談ください)

患者総合支援センター 地域連携受付

TEL:077-516-2511



社会医療法人 誠光会
淡海医療センター

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1660

PTEG

ピーテグを ご存知ですか？

経皮経食道胃管挿入術

(percutaneous trans-esophageal gastro-tubing:PTEG)

という難しい名前がつけてありますが、要するに、首の付け根(鎖骨の上あたり)から食道→胃へと栄養チューブを入れる手技です。

平成23年4月から保険診療が許可された手技で、栄養や減圧(胃腸の内容を体外に排出する)目的で、胃瘻造設が困難な症例に対して行われる処置です。



PTEG施行医師
消化器内科 島本 和巳

胃瘻造設困難例

- ・大量腹水
- ・胃-腹壁間に肝臓、小腸、横行結腸などが介在する
- ・胃切除後
- ・巨大な食道裂孔ヘルニア
- ・脳室-腹腔シャント留置症例(腹腔内感染予防が必要)
- ・造設位置に胃がんが存在
- ・極度の肥満
- ・がん性腹膜炎



社会医療法人 誠光会
淡海医療センター

消化器内科

PTEG 造設

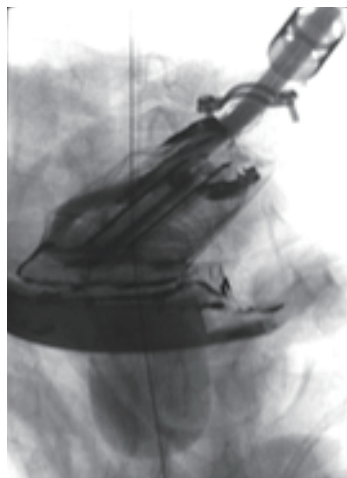
造設の方法

まず鼻から食道にチューブを挿入し
食道内でバルーンを膨らませます



(外)バルーン(内)ガイドワイヤー

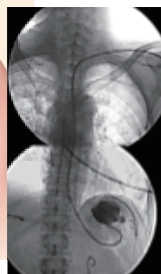
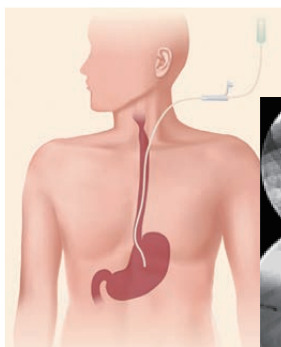
膨らんだバルーンを体外式超音波装置で確認し、バルーンに穿刺針を刺しガイドワイヤーをバルーン内に挿入します。



(上)18Fr.ダイレーター/シース
(下)18G穿刺針



次にガイドワイヤー先端をバルーンと一緒に胃の方に進めて留置します。このガイドワイヤーを使ってダイレーター(穴を広げる筒)と外筒シース(ストロー状の筒)を食道内に挿入し、外筒シースを残してガイドワイヤーとダイレーターを抜去します。
この外筒シースは皮膚から食道へと続くトンネル状になっていますので、この中を通して専用の胃管チューブを食道→胃へ送り込みます。最後にこの外筒シースを抜去して終了です。



造設処置にかかる時間としては、
平均20-30分程度です。

滋賀県唯一の 日本PTEG研究会 登録施設



「日本PTEG研究会にて、施設会員に登録されている病院は56施設あります。

当院で(消化器内科)島本和巳が2016年に施設
会員担当医として登録されました。

滋賀県下では当院のみです。(2021年12月現在)

2016年6月から導入し、2021年12月までに78件の
PTEG造設を施行しました。

現在までに施術に伴う重篤な合併症やコントロール困難な瘻孔感染等をきたした症例はありません。

PTEGチューブの閉塞は現在までには経験していませんが、1-2か月で閉塞するようなケースも報告はあり、その際にはチューブ交換が必要となります。
予防的に、5-6か月に1回チューブ交換を行います。
(交換手技は5分間程度でほとんど痛みを伴いません。)